

AGV (無人搬送車) の省エネ”ウェイクアップ”機能/AGVを管理する新しい無線受信機

01/12/2021

シュトイテは、AGVを利用するアプリケーションを視野に入れた、sWave.NET無線ネットワークのための新しい無線アクチュエータ、RF Rx SW868-NET-4S-A 48Vを発表します。

sWave.NETのシステムにより、エネルギー効率の高いバッテリー管理が実現されます。休憩中や最大3週間の休止中に、AGVシステム全体または個々の車両を電力を必要としない「スリープモード」へ無線で切り替えることができます。その場合、車両は、中央充電ステーションへ移動する必要がなく、任意の位置に留まればよいのです。この間、緩衝電池が無線受信機に電力を供給し、無線アクチュエータは「ウェイクアップ」信号を受信してAGV制御システムに転送します。



シュトイテは、AGVを利用するアプリケーションを視野に入れた、sWave.NET無線ネットワークのための新しい無線アクチュエータ、RF Rx SW868-NET-4S-A 48Vを発表します。

sWave.NETのシステムにより、エネルギー効率の高いバッテリー管理が実現されます。休

憩中や最大3週間の休止中に、AGVシステム全体または個々の車両を電力を必要としない「スリープモード」へ無線で切り替えることができます。その場合、車両は、中央充電ステーションへ移動する必要がなく、任意の位置に留まればよいのです。この間、緩衝電池が無線受信機に電力を供給し、無線アクチュエータは「ウェイクアップ」信号を受信してAGV制御システムに転送します。

これまでシユトイテは自社の標準の無線リレーアクチュエータを上記の用途に使用していました。AGVメーカーは、一般的なAGVの48V電源用に追加のコンバーターを搭載する必要がありました。最新世代のRF Rxは電圧変換器を必要としないため、必要なエネルギーが少なくて済みます。さらに、スイッチングプロセス用のリレーはなくなりますが、AGV制御への結合はオプトカップラ出力を介して行われます。これは、AGVと一緒に移動する無線受信機の省エネ操作にも貢献します。

この新しい開発により、シユトイテは強力で柔軟性の高い無線ネットワークの重要なターゲット市場であるAGVアプリケーションのためのsWave.NETシリーズを拡大しています。有名なAGVメーカーは、フリート車両で無線の「ウェイクアップ」機能を使用しており、システムインテグレーターや一部の自動車メーカーは、AGVの標準仕様にsWave.NETシステムを取り入れています。